

令和5年度（2023年度）第6回公立大学法人熊本県立大学経営会議
議 事 録

- 1 日 時：令和6年（2024年）2月21日（水）午後2時00分～2時40分
場 所：公立大学法人熊本県立大学大会議室
出 席：委員（理事長） 白石 隆
委員（副理事長（学長）） 堤 裕昭
委員（理事（事務局長）） 倉光 麻里子
委員（理事） 本松 賢
委員 櫻井 一郎
委員 横田 桂子
委員 古荘 文子
委員 守田 憲史
理事（副学長） 鈴木 元 *オブザーバー
監事 吉川 栄一
監事 本田 悟士

※印は、公立大学法人熊本県立大学経営会議運営規程第3条第1項の規定に基づく書面での意思表示による出席者。

事務局：加藤事務局次長、三隅教務入試課長、樋口学生支援課長、國武企画調整室長、二宮総務課長、犬塚地域・研究連携センター事務長、坂本デジタルイノベーション推進センター事務長、宮本国際教育交流センター事務長・図書館事務長、井上監査室長、笥総務課財務班長、井上総務課総務班参事、松尾総務課財務班参事、松本企画調整室参事

2 開会（進行：加藤事務局次長）

3 理事長あいさつ

4 議題（議長：白石理事長）

（1）審議事項

①第4期中期計画（R6-R11）（案）について

事務局より、資料1に基づき、第4期中期計画（R6-R11）（案）について説明があった。12月に示された県の中期目標を踏まえ、本会議で審議のうえ県へ認可申請し、3月に県法人評価委員会の審議を経て認可というスケジュールであることが説明された。第4期中期計画の重点事項が「社会と時代の要請に合わせた教育の質の向上」、「地域との幅広い協働を確立する教育研究の着実な推進」、「地域の国際化に対応し、国際社会にも寄与する教育研究の推進」の3つであることが説明され、（素案）からの修正点や予算、収支計画及び資金計画について説明があった。

理事長から、第4期中期計画では、「もやいすと育成システム」を継続すると同時に、英語とデータサイエンスを強調しているところがポイント。予算については第2期、第3期からかなり増えているが、「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」地域共創拠点のプロジェクトの寄与等が非常に大きい、と補足があった。

審議の結果、案のとおり承認された。

②総合管理学部における専攻制の導入に伴う組織改正等について

事務局から、資料2に基づき、令和6年4月1日より総合管理学部において専攻制を導入することに伴い、現在の1学科(4部門)から1学科3専攻(総合管理学科公共専攻・ビジネス専攻・情報専攻)へ組織改正を行うこと、「熊本県立大学学則」を含む規程等において文言の修正を行うことについて説明があった。

委員より、部門と専攻はどう異なるのか、と意見が出された。

学長より、部門は教員が所属していたもので、学生は所属していなかった。これからは学生がいずれかの専攻を選ばなくてはいけない。各専攻の専門教育を行うことでより専門性を身に付けることができるようになる、と回答があった。

事務局長より、広報の観点からすると、専攻制となると、各専攻を表に出しやすいという効果もある、との回答があった。

審議の結果、案のとおり承認された。

③客員教授の選考について

事務局から、資料3に基づき、客員教授に1名の任命を行う予定であり、その候補者名及び選考理由等の報告があった。

審議の結果、案のとおり承認された。

④教員の採用に係る枠取りについて

学長から、資料4に基づき、次の2件について、いずれも令和7年4月1日採用予定として枠取りを行いたいとの説明があった。

i) 文学部 Global Studies 教授、准教授または助教

ii) 総合管理学部 経営戦略論 教授、准教授または講師

審議の結果、案のとおり承認された。

(2) 報告事項

①学部長等の選考並びにキャリアセンター長等の指名について

事務局から、資料5に基づき、現在の学部長等の任期満了等に伴い、学部長等の選考規程に基づき19名を選考し、第13回教育研究会議で承認され、併せてキャリアセンター長等2名を指名した旨報告があった。

②総合管理学部任期の定めのない教育職員としての採用に関する人事について

事務局から、資料6に基づき、令和6年4月1日付けで任期の定めのない教員として採用予定である旨報告があった。

5 その他

6 閉会